

■活動内容

・ちょこっとカフェ…まちづくりセンターのロビーを利用して毎週月曜日に開かれています。元気な女性スタッフ4名が食事づくりやもてなしにあたっています。

周辺のおとしりやと一緒に来られた孫たち、子育てサロンを終えた親子などが、にぎやかにランチやデザートを食べています。1回あたりの利用客は25名程度、なじみの人が多くいて、おとしりや子どもの声がほどよく混じり、自然な地域共生の場になっています。

・子育てサロン…スタッフは1名ですが、若いママさんたちもボランティアを兼ねているかのように全体を見回しながら動いており、家庭での遊びの延長のような、自然でのびのびとした雰囲気のサロンです。右下の写真は、センター前の中庭で簡易プールをセットして行われた水遊びの様子です。約10組の親子が水しぶきを上げて楽しんでいました。

・その他…地域支え合いとしてのちょこっと手伝い、らくらく勉強会、地域活性化泥りんピックも行われています。



■団体名

下田学区まちづくり協議会

■参加者

のべ150名/月

■活動拠点 連絡先

湖南省下田学区まちづくりセンター
TEL:0748-75-0011
センター長 角島 啓一



■活動のきっかけ・実現までの経緯

- ・平成21年に下田学区の9区をエリアとして下田学区まちづくり協議会が設立されました。
- ・平成24年、下田商店街の一角にあったスーパーの店舗を改修して地域サロン「时空のふれあい館」が協議会事業としてオープンしました。
- ・事業活動の見直しにより、平成28年にセンターロビーを活用してちょこっとカフェをスタートさせました。
- ・平成29年からは「湖南省地域活性化先進モデル事業」の一つとして、週1回開催の本格事業としました。
- ・財源は市からの交付金60万円と、まちづくり協議会からの補助金30万円で子育てサロンやカフェを運営しています。



利用者さんの声

中山（区）から歩いて来た。年？87かな？。二人とも独り暮らし。中山でも月1回のサロンがあり、これはこれで楽しみですが、週1回のこのカフェも待ち遠しい。カレンダーに印を付けて待っておられます。カフェに来て、ランチも楽しみだが、みんなと顔を合わせ、なじみの方としゃべるのが楽しい！あと、老人クラブにも入ってないので、旅行の機会がありません。ここで、ちょっとした旅行なんかがあれば嬉しいな。

活動者の声

カフェスタッフは4名。平均年齢は60代後半。週1回のカフェだが、あっという間にやって来る。メニューを考えて、買い物に行って、当日の調理をするというパターンだが、本当に忙しい。メニューは栄養・バランス・家庭的といったことを大事にしている。食数は1回30食限定としているが、超えた時はスタッフ分を回しています。スタッフのチームワークとしては、買い物・調理・フロア担当を順に回して、同じ苦労、同じ喜びを味わうようにしています。お客さんから来てよかった、おいしかった！と言われるのが嬉しくて、頑張っ続けてたいと思います。

■活動に対する思いや目標、継続するノウハウ

- ・地域にはいろんな生活ニーズがいくつもあります。一番必要なことから、まずはやる！活動費などの課題は、やりながら考えます。
- ・取組みは身近なニーズを取り上げ、大々的では無く、こじんまりとした形でおこないます。
- ・自治会や行政、社協や学校などしっかりと連携しておこないます。